



越前ガニ漁獲量 増の見通し



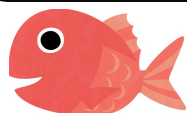
福井県水産試験場は今期の「越前ガニ」の漁獲量が前年比8~17%増の385~420トンになるとの予測を発表しました。定年は漁解禁となる11月6日の1週間程度前に大まかな予想発表していましたが、関連業者からのいち早く知りたいとの要望に応え発表時期を早めたそうです。同試験場が独自に実施した海底カメラの調査や資源量から推測されています。雄ズワイガニは5~15%増、雌は10~20%増えると予測しています。2013年ごろから実施してきた雌ガニの猟期短縮など資源保護の成果が出始めていると考えられています。

マグロの培養肉量産体制へ



マグロの培養肉が市場に出回る日が近くなって来ました。米国のスタートアップ企業「ブルーナル」が大規模培養肉生産施設の建設計画を発表しました。2027年の稼働を目指しています。付加価値の高いマグロのトロの生産を計画との事。この企業には世界各国の水産大手をはじめ、日本の大手商社やスシローなども既に業務提携を進めており、事業が確実に前進しています。

入荷情報



いよいよ、カニ解禁！



☆ いよいよ、**加能ガニ (ズワイガニ)** の解禁です！

・今年も**11月6日の解禁 (出漁)** で**11月7日に初売り** となります。一般に“ズワイガニ”と呼ばれる雄ガニは**11月6日~3月20日**、今年も“**コウバコガニ**”と呼ばれるメスガニは**11月6日~12月いっぱい**まで。カニシーズンを迎えたしばらくの間、カニ漁に集中する関係上、**地物の甘エビが品薄**になることがありますのでご注意を。**天然ブリ**は北海道から入荷。脂ののりが良いです。今後は新潟、北陸と南下して来ます。**タラ**は山陰、東北、石川と入荷しています。地物は**11月中旬以降**から本格的に入荷してきます。その頃には型や子 (**白子**) もしっかりしてきます。**イクラ**ですが高値推移を続けています。**ノドグロ**も韓国からの輸入も少なく、高騰しています。年末に向け早めの対処が必要です。

●商品価格等は各担当者にお問い合わせください